

てゐて代表に出席すると今迄の態度は間違つてゐたと言ふ様なことで脱退する態がある、今年行つた八木君も今は黙つてゐるか何かするたらうと言はれてゐる皆同盟は他よりそんなに考へられない様に願ふ、先の事は解らんと書へばそれまでだが此の點如何

○答 辯

變遷したと言はれても仕方ない様であるが一回日本の如き遠隔の所では巴むを待たないのではないか、私は二回行つたがヨーロッパ諸國では同一人の出席が多い、日本では海外に行くと言ふ目的もあり、又それに対する殆みもある交會に行くより外に方法がないので、思はないかと思ふ。他の組合からも不平が出てゐるし何とか考へられるのであらう、會議に出席するとすゝめ脱退する者もあつた、又出席して後は余り組合

の爲に盡さなくなつた例は官業労働内部にもある、日本労働組合が脱退したのは遺憾であるが官業労働も脱退するであらうと新聞にも書いてゐたか全くのデマである。陸軍の態度で日本主義に轉向する様に見られた事もあるし此等の様なことか原因であらうか今の處決してそんな事を考へてゐる譯ではない、辨明の要はないか組合會議に出席して行く必要もないけれども今意に脱退する様な事は無いから誤解ない様にせられたい。

本

誌

5、 議 事

一、 綱領再検討に對する件

川 村 保 太 郎

説明

大會に代る中央委員會で決めてもよいと思ふが綱領であるから大會で決定する事に仕掛い、意見を纏めて之れを綱領